

# JIS

## 石油アスファルト乳剤

JIS K 2208 : 2000

(2006 確認)

平成 12 年 8 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、社団法人日本アスファルト乳剤協会(JEAA)から、日本標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 32. 6. 28 改正：平成 12. 8. 20

官報公示：平成 12. 8. 21

原案作成者：社団法人 日本アスファルト乳剤協会

審議部会：日本工業標準調査会 化学部会（部会長 三田 達）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室 [☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目次

	ページ
1. 適用範囲 .....	1
2. 引用規格 .....	1
3. 定義 .....	1
4. 種類及び記号 .....	2
5. 品質及び性能 .....	2
6. 試験方法 .....	3
6.1 試験機器一般 .....	3
6.2 試料の採取方法 .....	3
6.3 エングラー度試験方法 .....	3
6.4 セイボルトフロール秒試験方法 .....	6
6.5 ふるい残留分試験方法 .....	9
6.6 付着度試験方法 .....	9
6.7 粗粒度骨材混合性試験方法 .....	10
6.8 密粒度骨材混合性試験方法 .....	10
6.9 土混り骨材混合性試験方法 .....	10
6.10 セメント混合性試験方法 .....	11
6.11 粒子の電荷試験方法 .....	12
6.12 蒸発残留分試験方法 .....	12
6.13 蒸発残留物の針入度試験方法 .....	13
6.14 蒸発残留物のトルエン可溶分試験方法 .....	18
6.15 貯蔵安定度試験方法 .....	19
6.16 凍結安定度試験方法 .....	20
7. 製品の呼び方 .....	20
8. 表示 .....	21
9. 取扱い上の注意事項 .....	21
解説 .....	22

# 白 紙

## 石油アスファルト乳剤

K 2208 : 2000

## Asphalt emulsion

1. 適用範囲 この規格は、道路舗装、護岸防水、のり(法)面保護などに用いる石油アスファルト乳剤(以下、乳剤という。)について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

- JIS A 5001 道路用碎石
- JIS A 5008 舗装用石灰石粉
- JIS B 0651 触針式表面粗さ測定器
- JIS B 7410 石油類試験用ガラス製温度計
- JIS B 7411 一般用ガラス製棒状温度計
- JIS G 4303 ステンレス鋼棒
- JIS K 2207 石油アスファルト
- JIS K 2251 原油及び石油製品—試料採取方法
- JIS K 2839 石油類試験用ガラス器具
- JIS K 8271 キシレン(試薬)
- JIS K 8680 トルエン(試薬)
- JIS R 3503 化学分析用ガラス器具
- JIS R 5210 ポルトランドセメント
- JIS Z 8401 数値の丸め方
- JIS Z 8402 分析・試験の許容差通則
- JIS Z 8801 試験用ふるい

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

- a) 石油アスファルト乳剤 乳化剤と安定剤等を含む水中に、JIS K 2207に規定するストレートアスファルト(以下、アスファルトという。)を微粒子(1~3 μm程度)にして分散させた褐色の液体。カチオン系石油アスファルト乳剤(以下、カチオン乳剤という。)及びノニオン系石油アスファルト乳剤(以下、ノニオン乳剤という。)がある。
- b) カチオン乳剤 乳化剤、安定剤として用いる陽イオン界面活性剤を含む水中にアスファルトを分散させたもので、アスファルト粒子の表面が陽(+)の電荷をもち、一般に酸性を呈する液体。
- c) ノニオン乳剤 乳化剤、安定剤として用いる非イオン界面活性剤を含む水中にアスファルトを分散させたもので、アスファルト粒子の表面は陽(+), 陰(-)のいずれの電荷ももたず、一般に弱酸性を呈する液体。
- d) エングラー度 規定温度で規定量の試料が試験器の細孔を流下するのに要する時間と、同温度・同量の蒸留水が試験器の細孔を流下するのに要する時間との比。乳剤の粘性を表す。
- e) セイボルトフロー秒 規定温度で規定量の試料が試験器の細孔を流下するのに要する時間。乳剤の粘性を秒で表す。

備考 エングラー度が15を超える場合の粘度測定に適用する。